

船舶事故調査報告書

平成30年4月18日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成30年1月10日 16時40分ごろ
発生場所	大分県大分市大分港 大分港大在泊地中防波堤西灯台から真方位160° 1,050m付近 (概位 北緯33° 15.1′ 東経131° 44.6′)
事故の概要	貨物船 <sup>フイ トン</sup> HUI TONGは、出港中、着岸中の <sup>チャン ハイ</sup> CHANG HAIに衝突した。
事故調査の経過	平成30年1月11日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 CHANG HAI（中華人民共和国籍）、4,061トン 8878867（IMO番号）、SHANGHAI CHANJIANG SHIPPING B 貨物船 HUI TONG（パナマ共和国籍）、3,317トン 9537599（IMO番号）、FORTUNE NICE HONG KONG LTD
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍）、免状不詳 B 船長B（ベトナム社会主義共和国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	A 左舷船側部外板に擦過傷 B 右舷船尾部外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約15m/s、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期 大分市には、1月8日10時46分に強風注意報が発表されており、本事故時も継続中であった。
事故の経過	A船は、大分港大在公共ふ頭16号岸壁に右舷着けで着岸して積荷役中、B船が衝突した。 B船は、大分港大在公共ふ頭17号岸壁に入船左舷着けで着岸していた。 B船は、船長Bが操船指揮に当たり、右舷船尾部に取ったタグボート1隻の支援を受けながら右舷後方に後進して離岸し、左回頭して反転した後、主機を微速力前進とした。 B船は、港外に向けて前進を始めて間もなく、西北西の風を受けて右舷方に圧流され、右舷船首方に着岸中のA船に接近したため、船長Bが主機を半速力前進として左舵を取ったものの、圧流され続け、その右舷船尾部がA船の左舷船側部に衝突した。
分析	B船は、大分港大在公共ふ頭17号岸壁からの離岸操船を終え、港外に向けて前進を始めて間もなく、西北西の風を受けて右舷方に圧流されたことから、同ふ頭16号岸壁に着岸中のA船に衝突したものと

	考えられる。
<b>原因</b>	本事故は、B船が、大分港大在公共ふ頭17号岸壁からの離岸操船を終え、港外に向けて前進を始めて間もなく、西北西の風を受けて右舷方に圧流されたため、同ふ頭16号岸壁に着岸中のA船に衝突したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 離岸操船を行う際は、風の影響を考慮して着岸中の船舶との距離を確保すること。